

## 1 月 22 日 : VN 指数は後場の買戻しで上昇 (VN-Index +0.12%)

- VN 指数は先週末の良好な投資家心理を引き続き、主に銀行、金融、鉄鋼セクターのおかげで上昇して本日の取引を開始した。
- しかし、利益確定の売りが出始めると、指数は下落し前場は一進一退の展開となった。
- 各セクターとも売り方が優勢で、市場は下落した。
- 後場には再び大きく下落。ただ、これが大きな買戻しを誘発し、取引終了間際には指数はプラスに転じた。
- 銘柄別では 246 銘柄が上昇、223 銘柄が下落、119 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は前日比で 27.2%増加し、売買代金は 18.7 兆ドンとなった。

## VN30 指数は相場をけん引 (VN-30 +0.37%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、14 銘柄が上昇し、10 銘柄が下落、6 銘柄が横ばいだった。
- 目立った動きを見せたのは、GVR (-1.17%)、ACB (+1.35%)、HDB (+1.19%)、HPG (+1.80%) だけだった。
- 大半の銘柄は値動きが軽微だった。

## セクター・個別株の動き

- 鉄鋼セクターは、HPG (+1.80%) が 2 兆 9,690 億ドン(前四半期比+48%)の純利益を発表した。
- MBB (+0.23%)、HDB (+1.19%)、VPB (+0.51%) は、改正信用機関法が承認され、弱小銀行の再編に参加する銀行が恩恵を受け上昇した。
- 外国人投資家は 8 営業日連続での買い越しとなり、額は 3993 億ドンの買い越しとなった。買い越し上位は、PC1 (-1.49%)、CTG (+0.15%)、STB (-0.17%)、

VCG (+1.01%)と分散していた。一方、SSI (+0.74%)は最も売り越された銘柄だった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。